

公園や庭園に用いられる緑化樹木に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. カイツカイブキは、ヒノキ科の常緑広葉樹である。
2. ヤマボウシは、ミズキ科の落葉広葉樹である。
3. イロハカエデは、マメ科の落葉広葉樹である。
4. アジサイは、バラ科の落葉広葉樹である。
5. カツラは、ヤナギ科の常緑広葉樹である。

【正答：2】

次の記述は国土交通省が令和元年7月に公表した「グリーンインフラ推進戦略」の一部に加筆したもの（下線部が加筆した箇所）である。記述のA～Cに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

- ・  A の有する多様な機能を活用して持続可能な都市づくりを進めるグリーンインフラの取組は、平成27(2015)年に国連サミットで採択された B (SDGs)の目標を実現するための基盤である。
- ・ グリーンインフラの C に際しては、環境の変化により当初の計画では想定していなかった事態が生じうることを前提とし、時間の経過とともに発揮される機能を随時モニタリング・検証しながら、地域住民等の多様な参画主体の合意を形成しつつ、 A が有する不確実性を踏まえた順応的な C を行うことが重要である。

A	B	C
1. 自然環境	持続可能な開発目標	維持管理
2. 自然環境	地球温暖化対策計画	維持管理
3. 木材	持続可能な開発目標	維持管理
4. 木材	持続可能な開発目標	防火対策
5. 木材	地球温暖化対策計画	防火対策

【正答：1】